



第69号

まちづくり来ぶらり

まちづくりライブラリー

全国に誇るまちづくりの専門図書館です。名古屋市の戦災復興に関する資料や都市計画関連図をはじめ、都市計画概要などの行政資料、建築・交通・環境などの図書、研究機関・シンクタンクなどの調査研究報告書などを収集しています。

特集 鶴舞公園噴水塔

1910年(明治43年)3月16日から90日間、鶴舞公園で開催された第10回関西府県連合共進会を記念し、名古屋開府300年記念会により鶴舞公園噴水塔は、建設されました。設計は、名古屋高等工業学校(現在の名古屋工業大学)建築科教授の鈴木禎次が行いました。

ローマ様式の噴水塔は、水を最上部まで揚げて、8本の突起部から自然に落下させています。全体的に洋風の噴水塔ですが、日本的な意匠も部分的に取り入れられています。

地下鉄3号線(鶴舞線)の建設工事のため、公園の下を通る地下鉄の経路について噴水塔への影響を避けるべきか、公園の緑を残すべきか協議が行われました。その結果およそ60年耐えた噴水塔を解体一時撤去し復元することに決まり、1973(昭和48年)に解体一時撤去され、1977年(昭和52年)3月、地下鉄開通に合わせ、一時撤去されていた噴水塔が建設当時の姿に復元されました。地下鉄が開通され鶴舞駅が開設されたことにより、鶴舞公園までのアクセスが良くなり、多くの市民が公園に訪れるようになりました。



噴水塔は、1986年(昭和61年)に名古屋市指定有形文化財に、1989年(平成元年)に名古屋市都市景観重要工作物に指定されています。

四季折々に花が咲き多くの人々が集う鶴舞公園のシンボルとして、いまなお市民に親しまれています。

- ◆参考文献 ※()内はまちづくりライブラリーの請求記号です。
- 『名古屋の史跡と文化財 新訂版』 名古屋市教育委員会／編 (Sc-ナ)
 - 『名古屋都市景観重要建築物・工作物 平成2年』 名古屋市計画局都市景観室／編 (2B11-90)
 - 『名古屋をつくった建築家 鈴木禎次』 瀬口哲夫／著 (Se-セ)
 - 『東海の近代建築』 日本建築学会東海支部歴史意匠委員会／編 (Se-ニ)
 - 『昭和区の歴史』 名古屋国際高等学校社会科教科会／編著 (Sc-ア)
 - 『鈴木禎次及び同時代の建築家たち 「20世紀の建築文化遺産展」 建築展図録』 瀬口哲夫・20世紀の建築文化遺産展実行委員会／編著 (Se-セ)
 - 『名古屋の公園100年のあゆみ』 名古屋の公園100年のあゆみ編集委員会／編 (2B19-2010)

お知らせ

特別整理期間による休館日のお知らせ

2015年2月2日(月)~2月12日(木)

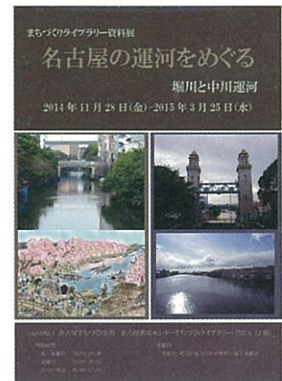
特別整理期間として蔵書点検を実施いたします。

休館中のご返却は、返却ポストをご利用ください。

まちづくりライブラリー資料展

「名古屋の運河をめぐる堀川と中川運河」展

2014年11月28日(金)~2015年3月25日(水)



堀川と中川運河をテーマに2つの運河が名古屋に果たした役割と名古屋の貴重な水辺である運河を中心としたまちづくりに焦点をあて、関連資料とパネルの展示をいたします。

お気に入りの一冊

「アートは地域を変えたか越後妻有大地の芸術祭の13年」

近年、日本の各地でアトリエンナーレやビエンナーレなど様々なプロジェクトをとおして地域を巻き込み活性化させる活動が盛んに行われています。

本書は、2000年7月から現在まで新潟県の越後妻有地域で実施されている「大地の芸術祭越後妻有アトリエンナーレ」(以下、大地の芸術祭)について、イベントが与えた経済的な効果や地域住民との交流、信頼などのソーシャル・キャピタルに地域にどのような変化を与え、実際に地域活性化がなされているかを調査・分析されたものです。

大地の芸術祭やその他のアートプロジェクトでは現代アートの作品展示や、空間を利用したインスタレーションが行われているが、今まで現代アートにふれたことがない人がその作品等を目の当たりにすると「なんだかよくわからない」という感想を耳にする。確かに近代美術のモネやルノワール、ゴッホの絵画を拝見したあとに、現代美術のピカソやダリの絵画は少々理解に困るものがあります。しかし、そこには人を惹きつける言葉では表現できない魅力があり、それをきっかけに地域住民やアーティストが共同で参加することでヒト・モノ・カネが集まってくるのかもしれない。それらを定性的に理解することができる一冊です。(K)

著者：澤村明
出版社：慶応義塾大学出版株式会社
請求番号：cf-1サ

